

## キハ10系で始まった朱色一色の首都圏色



### ◆実車ガイド

- ・キハ10系は1950年代に登場した国鉄の一般形ディーゼルカーで、量産型として初の液体式変速機を導入するなど、その後のディーゼルカーの基礎となりました
- ・小柄な車体により他系列と編成を組むと凸凹的編成となりながら全国各地の非電化路線で活躍しました
- ・朱色5号1色に塗られた車両が1975年相模線に登場し、場所柄「首都圏色」と呼ばれ、その後塗装規定変更に伴い他の一般形ディーゼルカーを含め各地へ波及しました

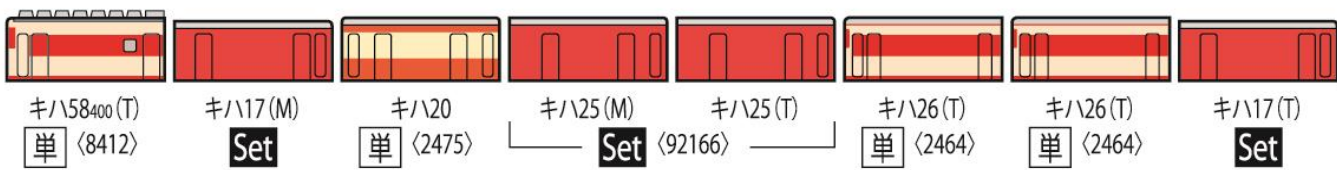
### ◆製品化特徴

- ・ハイグレード(HG)仕様
- ・ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ・ヘッドライトは電球色LED点灯
- ・ヘッドライトは2灯式シールドビームの姿を新規製作で再現
- ・各ゴムは灰色で再現
- ・貫通扉の渡り板は朱色のパーツ装着、グレー付属で交換可能
- ・車番は選択式で転写シート付属
- ・フライホイール付動力採用
- ・従来集電システム・黒色車輪採用
- ・TNカラー標準装備

- キハ17形(首都圏色)セットについて
  - ・キハ10系で片運転台車トレ付のキハ17形セット
- キハ10(首都圏色)(M)(T)について
  - ・キハ10系で両運転台車キハ10形の動力、トレーラー単品製品
- キハ11(首都圏色)(M)(T)について
  - ・キハ10系で両運転台車トレ付のキハ11形の動力、トレーラー単品製品
- キハ16(首都圏色)(T)について
  - ・キハ10系で片運転台車のキハ16形トレーラー単品製品□

### ■セット内容・編成例

#### ●高山本線(1979年頃)



#### ●烏山線(1979年頃)



### <別売りオプション>

室内灯:<0734>LC(電球色)

<98052>	国鉄 キハ17形ディーゼルカー(首都圏色)セット	(2両)	予価	¥9,500(税抜)
<9429>	国鉄ディーゼルカー キハ10形(首都圏色)(M)		予価	¥6,800(税抜)
<9430>	国鉄ディーゼルカー キハ10形(首都圏色)(T)		予価	¥4,300(税抜)
<9431>	国鉄ディーゼルカー キハ11形(首都圏色)(M)		予価	¥6,800(税抜)
<9432>	国鉄ディーゼルカー キハ11形(首都圏色)(T)		予価	¥4,300(税抜)
<9433>	国鉄ディーゼルカー キハ16形(首都圏色)		予価	¥3,500(税抜)
<92146>	再生産 国鉄 キハ16形ディーゼルカーセット	(2両)		¥9,500(税抜)
<92147>	再生産 国鉄 キハ17形ディーゼルカーセット	(2両)		¥9,500(税抜)
<2442>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ17形(T)			¥3,500(税抜)
<2444>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ16形(T)			¥3,500(税抜)
<2445>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ10形(M)			¥6,800(税抜)
<2446>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ10形(T)			¥4,300(税抜)
<2447>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ11形(M)			¥6,800(税抜)
<2448>	再生産 国鉄ディーゼルカー キハ11形(T)			¥4,300(税抜)
<2449>	再生産 国鉄ディーゼルカー キュニ17形			¥3,800(税抜)